

第47回 口腔AI分析

ICTツール導入の補助金等により、近年は介護業界でもICTツールを活用する事業所が増えています。事業所に蓄積されている多くの情報を分析し、活用することで、より良いサービス提供が実現します。厚生労働省が推進している科学的介護情報システム(LIFE)もその一環です。

私たちDSヘルスケアグループは、「食べたいを支えたい」をコーポレートメッセージとしています。これに共感いただいたエクサワイザーズ社とは、数年にわたりA



北村直也社長

W改定までの カウントダウン —介護の未来—

Iサービスに関する議論が続けてきました。それが形となったのが、身体機能分析AIサービス【Care Wiz トル

より良いサービス提供のためのICTツール活用

ト】の新機能です。口腔機能分析AIの開発に協力をさせていただきました。

トルトは歩行動画を撮影することで転倒リスクを可視化させて、運動メニューの提案等、機能向上をサポートする分析AIを搭載したアプリサービスです。そこに弊社の「口腔」のノウハウを提供しています。

誤嚥性肺炎リスクの可視化や、口腔機能を客観的な数値で表現できることで、利用者への口腔ケア啓発の一助になると期待しています。デバイスの中には「口腔機能向上加算の算定対象となる方がわからない」と

いった声もありますが、トルトの口腔機能分析により、対象者を把握することも可能になります。

弊社デバイスサービスのスートロングポイントは口腔ですが、そのノウハウを独占したいとは考えておりません。むしろ、いかに介護業界に浸透させていくかを使命と考えています。

ICTツールを用いることでデータ取得が容易になり、蓄積したデータを分析できる新しい技術も進化してきています。しかし、これをどう活用するかが大切です。数値化された定量的なフィードバックに定性的な解釈を加えて活用する

のは、各専門職等「ヒト」の力です。それだけで完結するようなICTツールはありません。これまでの私たちの経験値を活かし、さらにツールを使いこなすことで、より良いサービスをつくっていきましょう。

北村 直也 (きたむら なおや)

DSセルリア株式会社 代表取締役社長／理学療法士
一般社団法人日本デイサービス協会 理事

’18年にDSセルリア(株)取締役に就任。口腔と身体のリハビリに特化したデイサービス「トータルリハセンター」を首都圏に展開。’21年代表取締役社長に就任。理学療法士としての経験を活かし、多くの方にリハビリや口腔の知識や技術を届けたいと、多職種による組織マネジメントに注力している。